

【学校教育目標】

真理と正義を愛し、勤労と責任を重んじ、創造力と自主的精神に充ち、地域と国際社会に貢献できる個性豊かで心身ともに健康な人材の育成を目指す。

【重点目標(中・長期的目標)】

- 「白馬にしかない」学びの創造
 ①地域と連携した全国モデルとなる学校協働運営体制を構築する。
 ②地域資源を最大限に活用し、国際的な視野を持ち地域視点で行動するグローバル人材の育成。
 ③基礎的な学力の定着と21世紀型学力の育成に向けた授業改善と授業力向上。
 ④自らの生き方を主体的に意思決定し行動できる進路指導とキャリア教育の充実。

【今年度の重点目標】

- ①学習・生活の両面における個に応じた丁寧な支援・指導を通じた、いじめや体罰のない安心・安全な学校づくり。
 ②地域からの提案を活用した、環境と観光、国際を軸とする探究的で多様な学びの機会の提供と生徒個々のキャリアデザインの具体化支援。
 ③支援係との連携体制の一層の強化。寮生・下宿生に対する丁寧な支援・指導と地域との交流促進。
 ④地域みらい留学を通じた全国募集の促進と地元生確保に向けた、地域、地元小中学校等に対する積極的な情報発信、相互交流の強化。

◎教育活動に関するもの

評価項目	評価の観点	担当	目標・留意点(関係組織・評価方法等)
教育課程 教育内容	カリキュラムマネジメントに基づき実践する教育内容は、生徒の進路実現に効果的なものであったか。	教育課程委員会	進路状況、資格取得状況等の結果による。
	選択科目の選択群の構成並びにそれに属する科目の配置及び内容は適切であったか。		
学習指導と教育課程 各教科	思考力や想像力を伸ばし、他者の考えを理解する能力を育成できたか。自分の考えを適切に表現する能力を育成できたか。ことばに対する関心を高めることができたか。	国語科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
	授業編成の工夫や添削指導などを含むさまざまな補習を通して、個々に応じた基礎学力の向上を図ることができたか。また、言語能力の育成を意識し、対話(双方向)的な活動を行ったか。	数学科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
	習熟度別授業や選択授業、また放課後の補習を通して、個々に応じた基礎学力の向上を図ることができたか。授業での言語活動を通して、英語への関心を高めることができたか。	英語科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート) 必要に応じて補習を実施できたか。
	日本と世界の地理・歴史および政治経済に関する基本的事項を理解させ、地域や社会に貢献できる態度を育むための授業実践を行い、適切な振り返りを行ったか。	地歴公民科	地域の課題および地域を題材とした授業を各学年1件以上立案し、実施することができたか。授業アンケートを行い、その結果を次年度授業計画に反映させたか。
	「観光」にかかわる学習活動をさらに拡充させ、より魅力的で、より教育効果の高いものとするための研究をしたか。		新規に発案した企画、または、改善を加えた企画を2件以上立案し、実施することができたか。
	実験・実習の目的、操作の意味を理解させ、実験結果を考察させるなどの学習活動を通して、探究的な学びの土台作りができたか。	理科	各單元ごとに実験実習ができたか
	運動の合理的、計画的実践に主体的に取り組むことができたか。自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質、能力を高められたか。	保健体育科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
	生徒一人ひとりの技能、技術の伸長を図ることができたか。芸術を愛好し、深く味わおうとする心情を育むことができたか。	芸術科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
	生活者として生きるための知識や技術を身につけ、主体的に人生をつくれるようにワーク・実験・実習を活用した授業展開を工夫し、生徒が主体的に取り組むことができたか。	家庭科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
	商業科目に興味を持たせ、資格取得を通じて、社会で使える知識・技術(スキル)を身につけさせることができたか。	商業科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能の習得と情報社会の特性を理解し、情報化の影の部分に対応し、適正な活動ができる考え方や態度を身につけることができたか。	情報科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)	

評価項目	評価の観点	担当	目標・留意点(関係組織・評価方法等)
教務	生徒・職員が安心感をもって取り組める環境整備を行うことができたか。	教務係	20件以上の改善提案を行うことができたか。
	生徒に落ち着いた学習環境や機会を提供し、生徒の学力向上を図ることができたか。		対話的・協働的な授業、ICTを活用した授業の取り組みを推進し、授業評価アンケートにおいて、7割以上の生徒が満足感を得られたか。
	地域やPTAとも連携し、地域や小・中学校などへのPRを活発化させたか。		HPなどによる情報発信、教員による中学校訪問・中高連携・小高連携事業を合計して年間15回以上実施できたか。
生徒指導	基本的な生活態度が確立されたか。	生徒指導係	8割以上の生徒が達成できたか。(服装、あいさつ、マナー)
	健全な高校生活を送るために、豊かな人間関係の形成および問題行動の防止ができたか。		8割以上の生徒の評価が得られたか。
	さまざまな機会を通して、交通事故の防止ができたか。		各種指導を実施できたか。(交通安全講話、自転車乗車指導等)
	さまざまな機会を通して、盗難の防止ができたか。		移動や集会のたびに声かけはできたか。
	生徒が安心、安全で学校生活を送ることができたか。		地域、保護者、生徒、職員等からの情報を活用できたか。
進路指導	生徒の志望や適性・学力などを正確に把握し、適切な情報提供を行い、進路決定まででいねいに指導することができたか。	進路指導係	指導に対して7割以上の生徒が満足したか。(最終学年生徒へのアンケートによる)
	生徒の希望と意欲に応じて、早い段階から進路目標を持たせ、普段の授業に加え模試や補習などを効果的に組み合わせた学習計画に沿って、戦略的な進路指導を行うことができたか。新入試改革を研究し、生徒を適切に指導できたか。		指導体制を整え、生徒が目標に向かって学習を進めることができたか。
	組織的で系統的な教育活動を展開する中で、生徒の人生観・勤労観を養い、目標を持って意欲的に行動することを促せたか。		就業体験、企業見学、職業人講話など、さまざまな学習の機会を与えることができたか。
	授業や公営塾との連携によって生徒の学習状況を把握し、学力向上を目指した取り組み(模試や7時限補習など)を推進することができたか。 朝学習や三者面談時の補習を通して、基礎学力の向上が図れたか。		基礎力診断テストでDゾーンを減らし、Cゾーン以上を増やすことができたか。
生徒会	生徒が達成感を体験し、自信をつけるため、さまざまな場面で生徒に活躍の場を提供できたか。	生徒会係	7割以上の生徒が達成感を実感できたか。(アンケート実施)
	生徒会の将来を考え、組織や活動方法の見直しを行い、必要に応じて改善できたか。		年2回の実績の点検。
	早い時点から、生徒主体で計画の立案を行い、充実した内容の文化祭を実施できたか。		7割以上の生徒が満足できたか。(アンケート実施)
	さまざまな機会を通して、生徒会活動に参加させることができたか。		7割以上の生徒が達成感を実感できたか。(アンケート実施)
	ボランティアや国際交流などの公共的な面にも目を向けさせることができたか。		活動実績の点検。

評価項目	評価の観点	担当	目標・留意点(関係組織・評価方法等)
保健・環境	健康	保健環境係	アンケートを実施し、その評価による。
	環境		
生徒相談	特別支援教育	特別支援教育委員会	生徒や保護者の意向を踏まえ、スクールカウンセラー事業重点派遣校の96時間を効果的に活用し、支援できたか。個々の生徒に合った支援体制の実施と必要な見直しが行えたか。教職員対象の研修会を年1回以上行ったか。
1学年	学習面	1学年	アンケートを実施し、その評価による。
	進路指導		アンケートを実施し、その評価による。
	総合学習 北アルプス学		アンケートを実施し、その評価による。
2学年	学習面	2学年	アンケートを実施し、その評価による。
	進路指導		アンケートを実施し、その評価による。
	総合学習 白馬学		白馬フォーラムでの生徒発表、実りある研修旅行となったか、旅行後の生徒アンケートを実施し、その評価による。
3学年	学習面	3学年	アンケートを実施し、その評価による。
	進路指導		進路状況による。
	総合学習 白馬学		資格取得状況や進路状況による。

◎学校運営に関するもの

評価項目	評価の観点	担当	目標・留意点(関係組織・評価方法等)
連携	地域・保護者との連携	レポートチャンネルやHPを通して、学校の活動の様子や情報を地域に向けて積極的かつ効果的に発信し、その結果保護者や地域の方の学校への理解が深まったか。	教務係 レポートチャンネルを年12回発行し、7割以上の保護者が本校の情報発信に対して満足感を得られたか。(アンケート結果)
		白馬・小谷両村の小中学校、行政・企業や地域との連携を深めることができたか。	教務係 教員による中学校訪問、中高連携・小高連携事業を年間5回以上実施できたか。
		P T A行事などを通して、保護者の方との意見交換を充分に行うことができたか。	教務係(P T A担当) 7割以上の保護者が満足感を得られたか。(アンケート結果)
		オンラインによる異文化交流や海外留学等への参加を通じて国際感覚を身に付けることができたか。	国際交流委員会 8割以上の生徒および参加者が満足感を得られたか。(アンケート実施)
		学校行事にて、保護者・地域の方との交流を図ることができたか。	教務係(P T A担当) 各行事の参加状況が前年度を上回ったか。
管理運営	安全・安心な学校づくり	生徒がいじめや体罰を受けることなく、安全で安心な学校生活を送ることができたか。	コンプライアンス委員会 ・いじめ防止のための指針に基づき、教職員が研修を深め、さまざまな機会を通して生徒への啓発指導を行い、いじめ事案の発生を予防することができたか。 ・非違行為に係る職員研修を通じて、体罰事案の発生を予防することができたか。 ・アンケート調査等を通じて、生徒の現況を適切に把握することができたか。 ・いじめ・体罰事案が生じた場合に適切な対応をとることができたか。
		校内研修を定期的に行い、職員全体の意思疎通と共通認識を醸成するように努めたか。	教務係 生徒指導(人権教育)はもとより、法令・社会規範・倫理を遵守するよう複数回の研修実施、および職員の7割以上が研修に満足度を得られたか。
	校内研修	公開授業をお互いの授業を研究する機会と捉えて、積極的に研修できたか。	教務係 授業力向上のために職員間で互いの授業を自由に見学できる期間を設け、各職員年間3回以上の授業見学ができたか。